

◆平成28年度建設技能者表彰を行いました◆

平成28年11月17日(木)敦賀港湾事務所において、平成28年度建設技能者表彰式を行いました。

北陸地方整備局港湾空港部では、港湾空港工事の専門分業化が進み、工事の品質確保にあたっては、下請負者等の直接施工に従事する建設技能者の果たす役割が重要であることに對し、平成28年度より、工事の品質確保や向上に貢献した下請負者等の建設技能者を対象とした、新たな表彰制度を設けました。

当事務所においては、平成27年度に完成した敦賀港湾事務所所管の港湾工事の施工に對し、秀でた建設技能者10名を表彰しました。

表彰式では、当事務所の大下所長より受賞者全員に表彰状が手渡されました。その後、大下所長が祝辞を述べ、受賞者代表の「有限会社曾根工業中村武様」より受賞にあたっての謝辞がありました。

受賞された皆様、誠にありがとうございました。



所長挨拶

受賞者の皆さん

中村 武 【有限会社 曾根工業】	堺 真也 【株式会社 北瀬海運建設】
下川 直克 【有限会社 曾根工業】	櫻田 城治 【株式会社 北瀬海運建設】
立白 義道 【有限会社 曾根工業】	田中 昇次 【株式会社 タカダ】
川部 雄次 【有限会社 曾根工業】	鈴木 一栄 【有限会社 ZENSHIN】
安田 友信 【安田建設株式会社】	植村 光宏 【株式会社 関組】 (敬称略)



表彰された方々との記念写真



表彰状授与の様子

◆北陸の港湾を考える懇談会を開催しました◆



意見交換会の様子



高木毅衆議院議員



山本拓衆議院議員



助田重義衆議院議員



滝波宏文参議院議員

平成28年10月19日(水)、東京都内において、国会議員や港湾所在市長などの関係者が集まり、県内各港湾の現状や抱える課題、整備促進や利活用に向けた取り組みなどについて意見交換会を行いました。

冒頭、福井県山内港湾空港課長と当事務所大下所長から県内の港湾を巡る情勢について情報提供を行った後、各市長などから意見表明を頂き、出席者との意見交換を行いました。

意見交換では、クルーズ客船や外国旅行客の誘致に関する取り組みや、各港湾が抱える整備促進の重要性など、活発な議論が行われました。



左から、坂本坂井市長、洲上敦賀市長、牧野福井市建設部長



[2016年 冬号 Vol.47]



目次

●北陸の港湾を考える懇談会を開催しました	P1
●敦賀市の中央小学校5年生25名が敦賀港を見学しました	P2
●第17回サロン懇談会を開催しました	P3
●敦賀港で「みなとふれあい教室」を開催しました	P3
●褒章を伝達しました	P3
●平成28年度建設技能者表彰を行いました	P4

From Editors

●発行
国土交通省 北陸地方整備局 敦賀港湾事務所
所長・副所長(事務)・総務課・品質管理課
工務課・企画調整課・保全課・沿岸防災対策室
〒914-0065 福井県敦賀市松栄町2番43号
TEL:0770-22-2590 FAX:0770-21-8101
福井分室 副所長(技術)・海岸課
〒913-0037 福井県坂井市三国町黒目24字32
TEL:0776-82-1125 FAX:0776-81-7003

敦賀港湾事務所ホームページ
<http://www.tsuruga.pa.hrr.mlit.go.jp/>
北陸地方整備局 港湾空港部ホームページ
<http://www.pa.hrr.mlit.go.jp/>
「海とみなとの相談窓口」全国共通フリーダイヤル
大いに 聞かれ みなと
0120-497-370
※海やみなとに関するご意見、ご感想をお寄せください。

◆敦賀市の中央小学校5年生25名が敦賀港を見学しました◆

平成28年11月1日(火)、敦賀市立中央小学校の5年生児童(25名、引率先生2名)を迎え敦賀港の役割・施設等の学習と港湾業務艇「まつかぜ」による港内見学を開催しました。

総合的な学習の時間「敦賀と五つのわ～敦賀の伝統・ひと・自然を学ぶ～」の一環として、敦賀港の変遷や現状を学ぶことを目的に来所したものです。

当所会議室で行われた室課長による講義では、敦賀港が古くから重要な役割を果たし、現在も生活に必要な物資が運ばれていること、防波堤や岸壁など港湾施設の役割などの話がありました。「敦賀港では何を積み卸しているのか、どんな船がどこから来るのか」などの児童からの事前の質問も、講義の中でしっかり学習できたと思います。

港湾業務艇「まつかぜ」による港内見学では、川口技官の説明に少し耳を傾けながら、船上からの港の風景に席を立てて眺める児童もいて、初めて見る岸壁や防波堤にとっても興味を示していました。港内では、コンテナ船や石炭船などが着岸しており、敦賀港を多くの船が利用している様子も見ることができました。

今回の見学会が総合学習の一助となり、敦賀港に少し関心を持ってもらえたようです。後日、児童から温かいお礼のお手紙が届き、職員はたいへん励みになりました。小学校では11月26日に総合学習のまとめの発表会が盛大に行われました。



説明に聞き入る児童たち



船からの景色に興味津々の児童たち

◆第17回サロン懇談会を開催しました◆



懇談会の様子

船で見学させてもらった。その時の話も出るかと思うが、いろいろ教えて頂きたい。」と挨拶がありました。

その後、当事務所の企画調整課長から『最近の港湾行政について』、機部係長から『みなとの「にぎわい」づくり』と題して、二つの情報提供を行いました。

意見交換では、「にぎわいに関してどこが中心になって動いているのか」、「クルーズ船については市をあげての対応が必要だが、ソフト面の対応としてどのような対応が必要か」など、敦賀市や敦賀港が発展していくための様々な意見を頂き、活発な意見交換の場となりました。

平成28年10月26日(水)、敦賀に関する日本海沿岸地域の郷土史を調査研究する市民グループ「日本海地誌調査研究会」と当事務所が、敦賀港について意見を交換する「サロン懇談会」を開催しました。同懇談会は、行政や港湾関係者だけでなく、様々な分野の方々の意見を敦賀港の整備に活かしていくため、平成12年から毎年開催しており、今回で17回目となります。

まず開催にあたり、当事務所の天下所長より挨拶があり、続いて日本海地誌調査研究会の繁田会長から「我々にとっては専門的な内容になるが、港に関する新しい情報についてご披露願いたい。先日、敦賀港を



繁田会長の挨拶

◆敦賀港で「みなとふれあい教室」を開催しました◆

平成28年10月24日(月)、敦賀港のフェリーターミナルで、市内の敦賀西小学校5年生の児童34名が、港の役割や海への関心・親しみを高めてもらうことを目的に「みなとふれあい教室」と題しフェリー見学、講話、稚魚放流を実施しました。

最初に接岸中の「すずらん(フェリー全長224.5m・17,382トン)」に乗船し、広い船内の豪華な客室や、操舵室などを見学して回り、「すげ～!」「ホテルみたいや」などと驚きの声を上げていました。

次にフェリー船内のコンファレンスルームにて、敦賀市漁協の刀根参事からは敦賀でどんな魚が獲れるかなど漁業の話、そして当事務所の天下所長からは「港はみんなの生活にとって重要な役割を果たしており、敦賀港は古くから大陸との玄関口として栄えてきた国際港です」などの講話があり、熱心に耳を傾けメモを取っていました。

次にフェリーターミナル横の親水護岸「フェリオス」で稚魚の放流体験学習を行いました。稚魚は敦賀市漁協が用意した鯛500匹で、生け簀を元気に泳ぎ回る鯛に四苦八苦しながらタモ網ですくい、皆楽しそうに海に放流していました。



フェリーの船内見学(操舵室にて)



鯛をたも網ですくう子どもたち



放流した鯛を探している様子

◆褒章を伝達しました◆

平成28年11月22日(火)、敦賀港湾事務所福井港分室において、「福井の海を守る会」(福井市)へ褒章の伝達を執り行いました。

「福井の海を守る会」は福井市沿岸部の自治会、漁協、観光協会、婦人会などが主体となり、平成元年に設立後、地域住民が参画した海岸の清掃を年3回以上継続して行っています。これらの自然環境保護と美化、漁業資源及び環境資源保全、さらに郷土美化意識の高揚・啓発に寄与されたご功績に対し、平成28年秋の褒章において緑綬褒章を受章されました。

伝達式では、当事務所の天下所長から褒状の伝達と祝辞があり、続いて、会の奥田記明会長から「頂いた褒章を糧に、活動を後世に引き継ぎ、地域の誇りの海を守っていききたい」と挨拶を頂きました。



褒章の伝達